

## 弊社創業者、笹越十三男の一周忌に寄せて

猛暑を予感させる強い日差しのあと、今年も梅雨入りが告げられ、雨の季節となりました。早いもので、弊社元会長である父、笹越十三男が昨年七月三日に他界して一年が経とうとしています。この間、創業者の死去に動揺する間もなくあわただしく過ごし、ありがたいことに社業を維持できましたのは、ひとえに、元会長の存命のころと変わらずにお付き合いをいただき、弊社を暖かく見守ってくださった、お取引先の皆様のご厚誼のたまものと、改めて御礼申し上げます。

葬儀・告別式にご参会くださった皆様をはじめ、たくさんの方から、父との挿話と励ましの言葉をいただきました。その後、とある店で一席を設けていただき、遺影と杯を交わしてくださったお取引先様がございました。私を自社に招いてがんばれと御指導くださった、父と同窓の経営者様や、中には、僧籍をおもちの僧侶として来訪され、読経いただいたあと、父との思い出を語りながら涙された商社幹部の方もおられました。身内として、社業の後継者として誠にうれしくありがたく、また、多くの方の心に、その面影をとどめることができた笹越十三男は幸せ者であったと、改めて思う今日この頃です。

この間、新型コロナウイルスの感染拡大や政府による緊急事態宣言など、経験したことのない出来事が次々に起こり、経済活動の沈滞から事業の先行きを見通すことはなかなか難しい状況です。また、しばらくは、事業も日常生活も、感染防止対策を第一に過ごすことが肝要となりましょう。父がおりましたら、この事態をどんな風に受け止めていたか、なんとなく、聞いてみたい気も致します。

このような状況から、一周忌の法要は、一度は予定しましたものの、母が当面の延期を決めました。身内の法事もやめ、家族はそれぞれ、命日に手を合わせようと話し合っております。ふだんからお気遣いを賜った皆様に、このような形のご案内となり、誠に恐れ入りますが、これをおもちまして、一周忌法要の見送りのご連絡とさせていただきます。厳しい状況下ではございますが、引き続き、社業にまい進して参ります。この一年の変わらぬお取引に感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、あらためてお願い申し上げます。

2020年6月

豊和電機工業(株)代表取締役  
笹越徹